


事業番号	10 01 01	事業改善シート（令和3年度実施事業分） ■当初要求 □当初予算案 □補正予算案 □点検			
事業名	みんなで支える森林づくり事業	部局	林務部	課・室	森林政策課
		実施期間	H30 ～ R4	E-mail	rinsei@pref.nagano.lg.jp
総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン2.0)					
8つの重点目標	労働生産性、観光消費額				
総合的に展開する重点政策	2-4 収益性と創造性の高い農林業の推進				
	3-2 世界を魅了するしあわせ観光地域づくり				

1 現状と課題

目指す姿 これまでの取組	【目指す姿】 適切な森林整備等を通じて、本県が有する豊かな森林資源を、健全な姿で次世代に引き継ぐ <長野県森林づくり県民税に関する基本方針> ・地域住民等が自発的に里山保全を図る里山整備利用地域の認定 約150地域/5年間 (H30～R4) ・森林税の使途の認知度 30%以上 ・地域の景観に合致した間伐等 概ね110ha程度/5年間 (H30～R4)	
	【これまでの取組】 ・全市町村で「森林づくり推進支援金」を活用し、地域の課題に応じた森林づくりの取組を支援 ・県域及び各地域においてラジオ、イベント等を活用して森林税の広報を実施 ・里山整備利用地域の地域住民による地域協議会の地域活動を支援 ・観光地のビューポイント等において地域の景観を良くするための森林整備を支援	
令和2年度 点検結果 現状分析	課 題	今後の方向性
	・森林づくり推進支援金事業の実施後、みんなで支える森林づくり地域会議の意見を踏まえながら検証評価を行い、その結果を翌年度以降の事業に反映させていく必要がある。 ・森林税の認知度は約86%と高いものの、若年層における税の認知度が低い。 ・森林税の使途の認知度は約43%と低い状況。防災・減災など認知度が高い分野もあるが、多くの分野で使途の認知度が低い状況であり、森林税の使途の全体的な認知度の底上げが必要。 ・地域での森林管理の空洞化が深刻さを増しており、住民協働による里山の整備や多面的な利活用が求められているが、計画策定などの初動段階の支援が引き続き必要。 ・市町村において、観光地等の景観整備を図るための伐採や森林整備に対する要請が高い。	・市町村が地域会議での検証評価の結果を踏まえて行う 地域の課題に応じた森林づくりの取組を支援 し、地域の課題解決を促進。 ・若年層が触れる機会が高いと考えられる動画やSNS等といった デジタル媒体を活用した広報活動を推進 する。 ・特に使途の認知度が低い7分野の重点的な広報を実施する。 ・地域林政支援活動業務事務員や現地普及職員の支援の下、 地域で取り組む里山利用や森林整備による景観の向上による観光地の魅力向上を促進 。

2 令和3年度事業内容

予算のポイント・主な取組(予定)	✓ 地域の課題に応じた森林づくりの取組を支援 ・市町村が地域の課題解決をするために行う野生鳥獣被害対策としての緩衝帯整備や松くい虫対策などの取組を支援		駅構内での税PRの状況
	✓ デジタル媒体を活用した広報活動を推進 ・街中のデジタルサイネージやデジタルブック等を活用した広報を実施 ・使途の認知度の低い、7分野（地域住民等による里山の利活用等の促進、市町村による地域課題の解決のための森林づくりの取組 等）		
	✓ 地域で取り組む里山利用や森林整備による景観の向上による観光地の魅力向上を促進 ・里山整備利用地域の認定のポイント、地域協議会の設立、地域活動の計画等について助言を実施 ・森林を活用した教育活動や薪の生産等の地域活動を支援 ・県内の主要観光地周辺や高速道路沿線で景観を損ねている森林を整備し、観光地等の魅力向上を促進		

指標の状況及び目標値 [↑:改善、↓:悪化、→:変化なし]						No	成果指標	H30年度	R1年度	R2年度末 (見込)	R3年度 目標値	事業コスト	区分(単位:千円)			
前年度繰越			R1年度	R2年度	R3年度											
1	里山整備利用地域の認定数(箇所)	42	78	↑	108	↑	128					前年度繰越 0 当初予算 179,784 補正予算 0 合計(A) 179,784 うち一般財源 12,397 決算額(B) 170,863 職員数(人) 5.95				
2	森林税の使途の認知度(%)	45.5	43.6	↓	未定 (R3.3)		前年度以上の認知度									
3	(参考指標) 推進支援金事業実施市町村(市町村)	77	77	→	77	→	-									
4																
5																
成果指標設定理由		1 地域住民の協働による里山の多面的な利活用を把握するための指標：基本方針における目標値と実績を踏まえて設定 2 森林の役割や森林づくりの重要性等について県民の理解の度合いを把握するための指標：基本方針に基づき設定														

事業名	みんなで支える森林づくり事業	部局	林務部	課・室	森林政策課
-----	----------------	----	-----	-----	-------

細事業 No.	細事業名	R 1 年度 当初予算	R 2 年度 当初予算	R 3 年度 当初予算
1	みんなで支える森林づくり事業	167,654 千円	178,723 千円	要求 174,000 予算案 — 千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(予定)
1	森林づくり推進支援金	補助金	県内77市町村が行う、地域の課題解決に向けた森林づくりの取組を支援【補助想定件数77件、補助総額90,000千円】
2	みんなで支える森林づくり推進事業	直接	・広域ラジオ (FM, AM) を放送 ・各地域の情報誌、ケーブルテレビ、デジタルサイネージ等で森林税に関する広報を実施【事業費：7,000千円】
3	里山整備利用地域活動推進事業	補助金	地域住民等で構成される協議会に対して、里山整備利用地域における森林を活用した地域活動を支援【補助想定件数75件、補助総額42,000千円】
4	観光地等魅力向上森林景観整備事業	補助金	県内の観光地で、懸案となっていた景観の改善・回復のための森林整備を支援【補助想定件数22件、補助総額35,000千円】

細事業 No.	細事業名	R 1 年度 当初予算	R 2 年度 当初予算	R 3 年度 当初予算
2	地域林政支援活動業務事務員	12,430 千円	11,435 千円	要求 12,815 予算案 — 千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(予定)
1	地域林政支援活動業務事務員費	直接	・森林整備実施箇所の事業体との調整・管理 ・森林整備の調査補助 ・里山整備利用地域の認定及び地域活動への指導、助言 等